

第1236号

株式会社 茨城木材相互市場

2022

那珂川 NEWS 12

育てませんか あなたと私の Wood コミュニケーション

11.15 創立67周年記念市

相場堅持の意思強める

75人参加で売上高1億8300万円

茨城木材相互市場(茨城県水戸市、大谷知行社長)は15日に創立67周年記念市木材まつりを開催し、買い方など75人が参加した。年間で最も大きい記念市であり、グリーン材から役物、一般材までいつも以上に集めた。立ち会いで引き合いも堅調で、売り上げは1億8300万円と想定以上の結果を出した。柱角など品薄感も出てきており、同社は杉KD特等製品で8万円前後(立方メートル、市場渡し)を堅持する意思を強めている。

夏場まで関東市場の相場は軟調に推移し、最先端の価格が製材工場の生産コストに近づきつつあった。そのためウッドショック前に相場が逆戻りしかねないという危機感も強まった。同時に杉KDの柱105ミリの品薄感も生じ始め、ここにきて同市でも手当てが綱渡り状態になってきた。こうした背景から関東市場では10月ごろから下押し圧力が緩和し、杉KD特等の建値8万円(同)を基準に横ばいで推移している。同社はこうした流れを読み取り、10月ごろから明確に相場堅持の姿勢を打ち出している。

記念市のあいさつで大谷社長は「コロナ禍、ウッドショック、合板ショック、ウクライナ問題に円安と、大変な時代を迎えている。木材市況や為替変動に一喜一憂する日々が続くことも予想される。そのなかで我々は業界全体が潤う仕組みづくりに取り組み、この地域唯一の地元資本市場問屋として選ばれる存在になれるよう頑張りたい」と語った。

茨城県産材推進協議会の鈴木樹一会長は「木材価格が軟化しているなか、流通の川上から川下までのサプライチェーンを踏まえてお買い上げをお願いしたい」とあいさつした。

前日の雨でKD材や役物などが屋外に出せず、買い方に直接見てもらわなければ売りにくい品物も少なくなかった。それでも数量をまとめて手当てする顧客が複数来場し、販売材積の増加につながった。立ち会いの最後まで残る買い方も多く、内容のある記念市となった。

相場は、杉柱3メートル105ミリ角がKD特等で8万円前後、90ミリアダは杉KD特等で8万円前後の前期比横ばい。タルキは杉KD特等で8万円前後、ADで5万円前後の同横ばい。ヌキはグリーンで4万円前後と同1万円安。グリーン材はメーカー品により価格差が生じた。生材のため、場合によっては荷傷みが生じる前に売り切る必要もある。

日刊木材新聞
11月25日より

第45回茨城県木材まつり

主催：茨城県木連

「優良木材コンクール」

農林水産大臣賞に 有限会社 渡部製材所 (笠間市)

■全日本木材市場連盟会長賞	■全国木材組合連合会会長賞	■茨城県農林水産部長賞	■茨城県農林水産部長賞	■関東森林管理局長賞	■林野庁長官賞	■農林水産大臣賞
(株)井商店	(株)井商店	(株)和美林産	(株)成木材	(株)田製材所	(株)産	(株)産
様	様	様	様	様	様	様

受賞者の皆様方まことにありがとうございます！

◆建設業界の今後のロードマップと概要

2021.4.1	省エネ基準説明義務
↓	
2022.4.1	住宅性能表示制度の一部改正
↓	
2022.10.1	長期優良住宅法の一部改正施行 住宅性能表示制度の一部改正施行 フラット35 一部改正
↓	
2023.4.1	フラット35 断熱等級4以上 一次エネルギー消費量等級4以上要件化
↓	
2024.4.1	住宅ローン減税 その他の住宅が対象外
↓	
2025.4.1	4号特例廃止の方向

◆概要につきましては、第二面参照願います。

■わたしたちの使命 (SDGs)

(茨城木材の社会的役割)



「消費と生産を結ぶ価値ある架け橋」となる
一循環型地域環境の創造

1. 地域の人々により良い『住環境』を提供すること
2. 茨城県の森林環境を守ること



	R4年10月新設住宅着工				
	計	持家	貸家	給与住宅	分譲住宅
全国計	76,590	21,834	31,996	919	21,841
前期比	98.2%	81.3%	107.3%	181.6%	104.8%
茨城県	1,289	628	406	3	252
前期比	83.3%	75.2%	103.0%	75.0%	80.0%

県内市別の状況及びR4年度累計は弊社 Facebook をご覧ください。

[市日予定]

〈 本 社 〉	〈 つくば 〉
12月13日 (火) 記念市 昼食 12:00 終了 13:00	12月 8日 (木) 記念市 22日 (木) 記念市